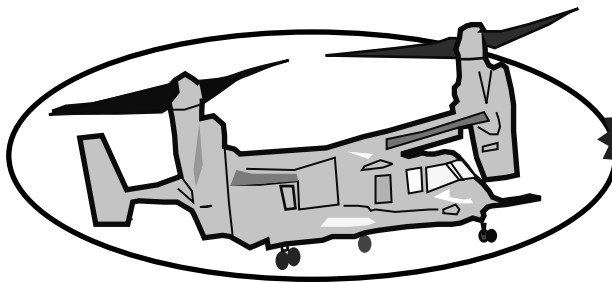


墜落・爆音激化 こんなに危険

米軍 オスプレイ配備やめて

政府は沖縄県民の命を何とと思っているの？



墜落くり返す
オスプレイ

1991年 6月11日	… 2人軽傷
1992年 7月20日	… 7人死亡
2000年 4月 8日	… 19人死亡
2000年12月12日	… 4人死亡
2006年 3月27日	… 死傷者なし
2010年 4月 8日	… 4人死亡

来年秋から配備開始と

政府は沖縄の米軍普天間基地に、来年秋、垂直離着陸輸送機オスプレイを配備する計画を明らかにしました。

オスプレイは、これまで6回も墜落して34人の死者を出すなど、「未亡人製造機」とさえ呼ばれた危険な軍用機です。爆音も着陸時にCH46ヘリを上回ることが、米政府の環境影響評価で確認されています。また、米本土では訓練数がCH46に比べ1.6倍にのぼっています。

住民を恐怖にさらす

これが配備されれば、今でさえ人口密集地でヘリが爆音をまき散らし、墜落をくり返している「世界一危険な基地」普天間基地は、いっそう危険な基地になります。

また、政府が沖縄北部の東村高江に建設しようとしている米軍ヘリパッドは、このオスプレイの訓練の発着帯。周辺住民に爆音と墜落の恐怖をまき散らします。

知事も東村長も「反対」

だからこそ、普天間基地を抱える宜野湾市長はもちろん、沖縄県知事や東村長など沖縄の38首長も「配備反対」を表明しているのです。

こんな危険なオスプレイの配備は絶対許せません。普天間基地の閉鎖・撤去、高江への米軍ヘリパッド建設中止を求めましょう！

沖縄・高江への 「ヘリパッド」 (オスプレイパッド) 建設は中止を！

知事も38首長も配備反対

(琉球新報アンケート：6月11日付)

- 仲井真弘多沖縄県知事
「オスプレイは何度も墜落している。危険な飛行場に危険な機材を配備するのは反対だ」
- 安里猛宜野湾市長
「これ以上の基地機能強化と負担は許されない」
- 伊集盛久東村長
「環境アセスをやり直す必要がある」「これ以上、騒音被害や周辺住民に迷惑がかかるのであれば、(ヘリパッドに)反対しなければならない」

日本平和委員会

2011年6月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277